

## 令和元年度 指定管理施設運営状況中間評価表

### 1. 施設の概要

施設の名称	大畑中央公園、むつ市兔沢スキー場		
指定管理者	団体名	一般財団法人むつ市教育振興会	
	代表者	理事長 奥 川 清次郎	
	所在地	青森県むつ市大畑町中島108-5	
指定期間	平成30年4月1日～平成32年3月31日（2年間）		
指定管理業務の概要	<p>管理業務の目的 むつ市の体育スポーツ振興を図るとともに、生活や文化の向上に寄与することを目的とする</p> <p>管理業務の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大畑中央公園及びむつ市兔沢スキー場の施設管理維持に関すること</li> <li>・大畑中央公園及びむつ市兔沢スキー場の広報及び利用促進に関すること</li> <li>・体育並びにスポーツを通じて地域住民の健康及び体力の向上のため施設提供に関すること</li> <li>・上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること</li> </ul>		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	49,101	24,698	▲24,403
うち利用料金額	2,340	1,428	▲912
うち指定管理料	46,701	23,270	▲23,431
支出合計 (B)	49,101	21,934	▲27,167
うち人件費	24,281	12,114	▲12,167
収支差 (A-B)	0	2,764	2,764
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>プール施設の収入は、冷涼な夏だったため幼児及び児童生徒の利用が前年と比べて減少したため収入減となった。特に小/中学生の利用は毎年落ち込んでいるため利用料減少の原因になっている。また、一般の利用が大きく減少した。(622名減、146,020円減) その半面シニア世代の利用が増えており(89名増、63,600円増) 今後の期待に繋がる。</p> <p>プールは、プール底のタイルの亀裂があり8月26日から9月11日まで臨時休業日とした。改修工事に要したこともあり利用料金及び利用者数の減少になった。</p> <p>プール施設の収入は、1,137,870円、前年対比94%であったが、開設期間が遅くなったことに加えて改修工事があったことから前年同様と考える。閉設までの期間は、温水プールの特性を活かして施設の周知とともに水泳教室等により利用促進に努め、さらなる収入の上乗せを図りたい。</p> <p>野球場施設は、前年同様に推移している。今期の大会・催事の予定はほとんど終了した。利用者数は1,570名で前年より246名減少した。</p>		

野球場施設の収入は137,820円であり、前年より5,440円減少した。  
。大会の規模が小さくなっており、参加団体数は同じでも参加者が少なくなっているため実績が伸び悩んでいる。

今期は利用促進のため自主事業として「第1回あさひな杯・少年軟式野球大会」を開催した。今後においても参加チームを増やすことで利用促進と活性化に期待するものである。

庭球場施設は、利用料金及び利用者数ともに前年より増加した。利用者数は457名で前年より218名増加した。

一般利用は例年並みであったが、児童生徒が減少する中、学校部活の利用が増えたことが主なる要因である。

庭球場施設の収入は53,350円であり、前年より20,580円増加した。

陸上競技場施設は、前年より減少した。

フィールドの使用については、良い状態の芝生が維持できたこともあり、リピーターも多く、利用者からも「良かった。」という声が寄せられた。開催した大会の件数は同様だが、参加人数が減ってきているので、利用回数を増やす方策として、質の良い芝生を積極的にアピールしたい。

トラックの使用については、スポーツ少年団の利用が多かった。一般利用は少なく、28年以降のトラック使用の利用料金が生じてからは、一般の簡易なウォーキング等の利用が減った。

陸上競技場施設の収入は99,050円あり、前年より18,220円減少した。

スキー場は、12月からの開設である。

今期で最後になるため「本州最北端のゲレンデで最後の思い出を満喫しよう」として集客に努めたい。降雪を期待して万全の準備を持って運営に当たる所存である。

スキー教室も企画しており、付帯施設の食堂も週末祝日に稼働する予定である。心と体の成長を育み、色あせることのない冬の一ページを演出したい。

支出について、事業計画の予算に基づき執行している。利用料金収入が見込みより少ない状況であるため、全体経費も圧縮している。

人件費は、安全を優先するため正規職員の構成員数を増やすことで安全な管理体制を維持している。そのため、一部の公園草刈業務は外部に委託して全体の経費内でやりくりしている。

燃料費、電気料、及び水道料は、日々の節減に努めている。職員間の連携を蜜にすることで、不足のない申し送りと節約意識を高めている。

また、各種使用量等の統計を確認し、具体的な節減について声掛けを行うなど具体的に取り組んでいる。

支出全体については、予算執行を把握し、計画的かつ効果的な業務になるよう周知徹底をしており、充実した業務に反映させたい。

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	プール	9, 0 0 0	6, 0 7 3	▲ 2, 9 2 7
	野球場	2, 6 0 0	1, 5 7 0	▲ 1, 0 3 0
	庭球場	8 0 0	4 5 7	▲ 3 4 3
	陸上競技場	4, 0 0 0	3, 6 7 6	▲ 3 2 4
	スキー場	2, 3 0 0		

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無)

利用者の声は、意見箱を設置して利用者ニーズの把握に努めた。ホームページからも意見や要望を送信できるようにしている。また、不定期にアンケートを実施しており、利用者の意見や要望とともに居住地や利用の頻度など収集し利用者満足度の把握に努めている。

意見箱で受けた意見等については、全員で検証しており、改善すべき部分は具体的な対策を持って対応している。

意見箱、及びホームページからの送信への回答は、プール棟廊下に掲示板を設けており利用者にも報告を兼ねて公表している。

意見の内容は、好意的な意見が多い。中には要望も含まれており、月次報告や口頭により担当課に申し送りをしている。特に施設設備に係る備品等について、数年に渡る要望の物品が予算化されない部分は、誠意ある説明、又は創意工夫を持って対応している。

利用者からの苦情については、真摯に受け止めている。施設管理者側の真意を丁寧に説明しご理解とご協力を得られるよう、速やかに、事実に基づき、誠意を持って対応することを徹底している。

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事 業 名	利 用 者 数	収 入	支 出
スポーツ振興事業・水泳教室	6 2 1	5 9 1	3 4 2
スポーツ振興事業・ルゲックウォーキング教室	1 8	9	8
スポーツ振興事業・少年軟式野球大会	1 1 0	2 3	8 4
スポーツ振興事業・初心者スキー教室			
食堂事業 (ヒュッテ食堂実数)			

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	A	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

今期は、開設当初から肌寒い日が続いた。5月に一時的に真夏日となる異常気象があったが、その後冷涼な気温が続き8月の真夏日は少なかった。9月初旬には秋の気配を感じる天候に変わった。そのためか主たる収入となるプール施設は一般利用者の利用が停滞した。

また、プール床の異常があったことから改修に係る期間の18日間が臨時休業となり、利用者減少の原因となった。

事業経営については、指定管理者として行政の事務代行であることを念頭に住民サービスに寄与することを徹底した。むつ市から委任を受けた事務であることから、条例及び規則の範囲内で事業計画に基づき業務を遂行するとともに、利用者の状況及び統計等は正確に把握することを徹底している。

事業経費の削減、及び柔軟な発想による利用者サービスの向上、施設の活性化は、指定管理者の基本とすべき役割であることを理解して業務にあたっており、指定管理者として意識を高めるために基本的な対応、及び業務について職員研修を開催している。

定期的な従事員研修は、プール開設前、プールが繁忙期を迎える前、スキー場開設前に実施することとしており、加えて消防計画に基づく消防訓練や救命救急を適時に実施している。教育訓練は別に報告しているとおおり、復命を総括して共有し、さらに次回の申し送りや資料にすることで充実を図っている。

職員の配置については、人件費を鑑み人員を雇用し配置している。勤務は、シフトによる交替勤務としている。

特にプールにおける安全配慮が最優先であることから、利用者の状況に応じて柔軟に対応することを共通理解としており、監視員、及び救護員の配置を優先した当該日の配置を行っている。

プール施設は、遊泳者の監視、及び救護とともに熱中症予防の室温掲示や安全に利用するための注意喚起を実施した。併せて、更衣室の巡回による衛生面及び防犯の充実を図った。

各競技施設の安全点検は定期的実施しており、環境整備、及び営繕については、天候を鑑みプールの管理と同時に適時行っている。また、前期から除草業務については外部委託をすることで天候に左右されることがない環境整備を実現できた。そのためプールの維持管理及び監視に力を注いだ。

管理運営するに当たり、一人ひとりの意識を高めるために毎日のミーティングを大切にしている。シフト勤務であるため申し送りの不足がないようにミーティングノートを活用している。ノートに伝達事項の要旨を記録し周知することで連携を高めている。特に問題点については、改善策とともに共有している。

また、利用者への接遇についてもミーティングを通して利用者目線を意識した情報の共有に努めている。

ミーティングにより情報等を共有することで、運営コストの大きな割合を占める灯油、電気や水道の使用量等の統計も把握でき、声かけによる節約を実践している。

併せて、事故防止、危機管理、就業意識や管理能力の向上については、従事員研修の資料を基に適時確認をしている。

施設管理に係る外部の機関で開催する研修等については、積極的に参加をしている。その研修内容は、都度、復命し要点を共有するほか従事員研修等の機会に伝達講習を実施して職員間で理解を深めるとともに資質の向上を図っている。

更なる利用者の獲得に向けて創意工夫や広報活動に努めている。

広報については、施設の利用促進のために努力している。

計画的に実施する自主制作チラシは市内の小学校を中心に配布している。今期は、未就学児及びその保護者の利用機会の拡大をねらい幼稚園及び保育園にも継続して配布した。

また、ホームページについて毎日更新してプール施設の開館時間を掲示するなど情報を発信しており、ブログでは、施設の状況や大会に参加する選手たちの活躍、大会成績なども紹介した。

自主事業は、施設の活性化に大きく寄与している。

継続する水泳教室は、プール施設の利用の機会を増やすとともに公益的な活動のスポーツ振興に大きな役割を果たしている。

今期より「女性限定水泳教室」を6月から実施し、一般からシニア世代までの幅広い層へ利用促進に努めた。

また、新たな水泳教室として「着衣水泳教室」を開催した。利用者ニーズを実現した形であり、突然襲ってくる自然災害への防災意識を高めるためにも今後の発展に期待をしている。

水泳教室の参加者は、9月末日までで延べ621名でありプール利用者数の約10.2%である。

昨年から開催している「ノルディックウォーキング教室」は回数を増やし施設と事業の周知や陸上競技場の活性化を図った。さらに下半期には紅葉を楽しみながらのノルディックウォーキング教室や冬のスキー教室も予定している。

また、スキー場に併設する食堂を運営して施設の多目的化を図るとともにスキー場利用の機会を増やし、スポーツ振興、健康増進、そしてふれあいの推進を図りたい。

これまで当施設の管理を行ってきた経験を活かして、効果的な運営実績を報告できるように努める所存である。

#### 7. 市の所管課総合評価 ④市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

上半期においては、プール槽タイル亀裂破損により、一定期間休業することとなったが、利用者への通知や破損後の周辺の安全確保など柔軟に対応をしていただいたことに対して、心より感謝している。

また、この影響からか一般の利用者数は減少しているが、貴団体の独自料金制度である「シニア料金」の制度が徐々に市民に浸透し、利用者 89 名増、63,600 円の収入が前年度より増加したことは、大畑地区をはじめ、当市における健康増進に寄与している施設として、良い結果と考えている。

関連して今年度初開催となった「第 1 回あさひな杯・少年軟式野球大会」についても、市民のスポーツ機会提供の拡充という面において、大変期待するものである。初回であるため、参加チームは 4 チーム、参加者は少ない大会となったが継続性があり、企画段階を早めることができれば広く周知が図られ、更なる増員を見込むことができるのではないかと考えている。

その他の自主事業や通常の管理業務も同様であるが、開催した事業を都度振り返り、「気づき」を抽出するだけでなく、職員と共有し、次回の事業開催に向け「気づき」を昇華させることで、ストロングポイントにしていただきたいと考えている。潜在的な利用者へのアプローチ、自主事業の更なる工夫によって、次回「A評価」になることを期待する。